

2014年9月7日 南アルプス 尾白川 鞍掛沢支流乗越沢

メンバー A・K・(S)

コースタイム 6:05矢立岩P発 7:35尾白川林道終点 8:15入渓 9:20鞍掛沢出会 11:30乗越沢出会(大休止12:15発) 14:05鞍掛山と駒岩のコル 14:35駒岩分岐 15:50日向山 16:40矢立岩P着

去年から、鞍掛沢に行きたいと騒いでおりましたが、今年に入りチラホラとWEB上にも記録が上がってきました。私も負けずに行かなければと、A氏を誘ったところ「日向山に行ってみよう」との声。会に興味を示している方からも沢体験をしてみたいとの声があり、私としては、白馬で水没させたデジカメの代替品のテストと、沢用に新調したカッパのテストも兼ねて乗越沢に行ってきました。

近場ですが記録を見ると時間が掛かりそうなので、早めの出発。雨模様の天候でしたが、回復傾向に入っていること、前日までの降水量が多くないことが決め手となり、あとは入渓点の水量を見て遡行するかどうかが決める気持ちで入山。幸い、天候は8時頃から回復しており、水量もそんなには多くはありませんでした。ただし、水は濁り黄色に変色。エメラルドグリーンを期待しましたが今度の機会にしたいと思います。

尾白川林道は、荒れており倒木や落石の宝庫。途中の3つの薄暗い隋道を抜けて尾白川入渓点へ。沢初体験の方にレクチャーしつつ、水量が多く渡渉に緊張しを強いられましたが、思ったより綺麗な滝や床を堪能し乗越沢出会まで3時間。大きな滝は巻き道が明瞭であるためロープは渡渉以外では使用しませんでした。

所々の釜に魚影が走っていましたので、大休止中にA氏がフライを流す。しかしながら釣果は無し。A氏曰く「餌の食べすぎで反応しないのであろう」と。私も、釣りには興味があるので、これも今度の機会に挑戦したいと思います。

乗越沢に入ると、水量が格段に減りヌメヌメの滝の登攀となります。顕著な滝は5つあり、逆層気味の4つ目の滝以外は直登出来ます。本来であれば遡行図の勉強のために記録を書くつもりでしたが、登れる滝との事で気持ちが浮付き忘れてしまいました。近場ですのでまた行くこともあるでしょう。

沢の詰めは、アザミの集団が待ち構えており時間としては40分程、同行したS氏には堪えたようです。雨のせいで枝沢がはっきりとしており、地形図を見ながら詰めてドンピシャでコルに着くことが出来ました。

駒岩の分岐には、日向山まで2hと示されていましたが、余裕を持って記載してあるので

しょう、1時間20分程で日向山へ。日向山は山ガールの聖地との情報を得ていましたので期待していましたが、時間も遅いのでガールはいませんでした。まあ、いたとしても小汚い格好をしていますので近づいてこないでしょうけども……。日向山からは、整備された道を下り、都合10時間半の山行が終わりました。

同行したメンバーもそれぞれの目的を果たせたようですし、新たな目的も見つけることが出来た山行となりました。